



株主のみなさまへ

第53期 事業報告

2005.3.1 ~ 2006.2.28





TOP Message

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

ここに第53期(平成17年3月1日から平成18年2月28日まで)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

全体の概要

当期におけるわが国経済は、IT(情報技術)関連産業の生産・在庫調整が終わり、原油高に伴うガソリン価格の高騰や原材料のコスト高の要因はありましたが、堅調な設備投資や内需増加により、企業収益は改善しており、緩やかな景気回復が続いております。

小売業界におきましては、企業業績の回復に伴ない、雇用・所得環境の改善を通じて家計部門へ波及、個人消費は好転してまいりました。

このような状況のもとで、当社は収益向上を図るため経営の効率化や財務体質の強化を推進し、顧客満足の上昇のため商品構成・売場提案方法の見直し、接客・サービス向上のための人材育成、店舗の快適性を高めるための環境整備を実施してまいりました。

また、経営環境の変化に対応するため、執行役員制を導入し社内の組織改革を行いスピード感を持った組織への転換を図りました。

これらの結果、当期におきましては、売上高は、15,435百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益234百万円(前年同期比26.2%増)、経常利益466百万円(前年同期比8.0%増)、当期純利益(前年同期比83.2%減)となりました。



部門別概要

① カルチャー事業部

当事業部におきましては、レンタルはDVDの市場浸透を背景に商品を大幅に拡充したこと、携帯音楽プレーヤーの普及に伴いロングセラーのCDを充実しました結果売上を伸ばしました。中古書籍、中古ゲームにつきましては、買取の強化と品揃えを充実したことにより大幅に売上が増加いたしました。一方、ゲームはハード機器の商品不足、ビッグタイトルの販売がなかったことの影響を受け、減少いたしました。

店舗につきましては、静岡県内に2店舗出店して、静岡県内のエリアドミナントを更に強化し、総店舗数は前期末より2店舗増え48店舗となっております。

売上高は、13,639百万円(前年同期比3.4%増)、となりました。

② ファッション事業部

当事業部におきましては、売場における商品提案の改善と寒波により、秋冬物衣料販売が順調に推移しました。

店舗につきましては、事業の選択と集中を進めた結果、総店舗数は前期末より5店舗減少し12店舗となっております。

売上高は、1,796百万円(前年同期比39.3%減)となりました。





今後の方針

当社は、お客様のより良い生活実現のため、良い品・良いサービスをより安く提供し、服飾と生活文化を通じてお客様の満足を実現し、地域社会に貢献することを経営の理念として推進してまいりました。

今後の方針としましては、経営環境の変化に対応した安定的に利益を確保できる仕組みづくりを目指し顧客ニーズを捉えた商品やサービスの充実により「顧客満足の創造と追求」を継続してまいります。

カルチャー事業におきましては、DVD・デジタル音楽プレーヤー等の普及率の高まり、インターネットによる配信ビジネスの浸透により、レンタル・販売ともにお客様の動向の変化が予想され、また、TVゲームも今年中に次世代のハード機器が発表される予定で市場動向の変化が予想されます。商品構成、売場提案力、環境整備、人材育成に力を入れ増収・増益体制を構築してまいります。

ファッション事業におきましては、店舗数は縮小しましたが、既存店の見直しを行ない顧客ニーズを重視し、地域性・客層に合わせた商品構成と営業戦略を立て再構築してまいります。

また、変化する経営環境の中、リスク管理や法令・社会規範の遵守などのコンプライアンスの強化を進めてまいります。

以上の政策を的確に実施し、業績の伸展に全力を上げて邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 後藤 行宏



貸借対照表

	52期(A)	53期(B)	増減額(B)-(A)
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	3,597,383	4,126,193	528,809
売掛金	87,277	72,926	△14,351
たな卸資産	1,797,520	1,755,760	△41,760
その他流動資産	458,645	462,976	4,331
固定資産			
有形固定資産	6,249,120	6,109,025	△140,095
無形固定資産	273,286	182,268	△91,018
投資その他の資産	4,573,419	4,558,023	△15,396
資産合計	17,036,654	17,267,173	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	857,823	750,824	△106,999
短期借入金	2,693,779	2,920,111	226,331
その他流動負債	851,467	1,343,480	492,012
固定負債			
社債	800,000	560,000	△240,000
長期借入金及びその他固定負債	1,361,634	1,029,355	△332,278
負債合計	6,564,705	6,603,771	39,065
資本の部			
資本金	2,546,671	2,546,671	0
資本剰余金	2,674,144	2,705,505	31,361
利益剰余金	5,059,456	5,042,296	△17,159
その他有価証券評価差額金	191,994	369,245	177,251
自己株式	△317	△317	0
資本合計	10,471,949	10,663,402	191,453
負債・資本合計	17,036,654	17,267,173	2,305,185

*1 現金及び預金

売上以外の増減要因

- ・敷金・建設協力金の回収 319百万円
- ・社債の発行 294百万円
- ・借入金の返済 △284百万円

*2 有形固定資産

ファッション事業5店舗閉店による減少

*3 支払手形及び買掛金

- ・カルチャー事業 △350百万円
- ・ファッション事業 △400百万円

*上記の内、ファッション事業の支払手形の金額△290百万円

*4 資本剰余金

- ・子会社(株)ジーエムエス合併に伴う合併差益

損益計算書

	52期(A)	53期(B)	増減額(B)-(A)
売上高	16,153,535	15,435,868	△717,666
売上原価	9,750,287	9,072,846	△677,440
売上総利益	6,403,248	6,363,022	△40,226
%	39.6%	41.2%	1.6%
販売費及び一般管理費	6,217,803	6,128,979	△88,824
営業利益	185,444	234,042	48,598
%	1.1%	1.5%	0.4%
営業外収益	973,566	986,869	13,303
営業外費用	727,290	754,487	27,197
経常利益	431,720	466,424	34,704
%	2.7%	3.0%	0.3%
特別利益	333,547	184,435	△149,111
特別損失	126,053	408,892	282,838
税引前当期純利益	639,214	241,968	△397,245
法人税、住民税及び事業税	295,437	243,914	△51,523
法人税等調整額	35,206	△53,686	△88,893
当期純利益	308,570	51,740	△256,829
%	1.9%	0.3%	△1.6%

*1 売上高

・カルチャー事業	13,639 百万円
・ファッション事業	1,796 百万円
	<hr/>
	15,435 百万円

カルチャー事業は売上増加となるが、ファッション事業は52期における営業譲渡等により売上減少となる。

*2 営業利益

売上高及び売上総利益は共に減少したが、経費を圧縮したことにより、営業利益は増加。売上高に対する営業利益の比率0.4%増加。

*3 特別損失

・役員退職慰労金	221 百万円
・固定資産除却損	97 百万円
・役員退職慰労引当金繰入額	76 百万円

キャッシュ・フロー計算書

	52期(A)	53期(B)	増減額(B)-(A)
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	496,518	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	201,656	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△99,718	—
現金及び現金同等物の増減額	—	598,456	—
現金及び現金同等物の期首残高	—	3,044,111	—
合併による現金及び現金同等物の増加額	—	30,331	—
現金及び現金同等物の中間期末(期末) 残高	—	3,672,900	—

*第52期はキャッシュ・フロー計算書を作成していないため、52期及び増減比の記載は省略しております。

*1 営業活動によるキャッシュ・フロー

・税引前当期純利益	241 百万円
・減価償却費	404 百万円
・役員退職慰労引当金の増加	101 百万円
・仕入債務の減少	△106 百万円
・法人税等の支払	△281 百万円

*2 投資活動によるキャッシュ・フロー

・敷金・建設協力金の回収	319 百万円
・投資有価証券の売却	160 百万円
・定期預金の払戻	114 百万円
・投資有価証券の取得による支出	△298 百万円

*3 財務活動によるキャッシュ・フロー

・短期借入金の純増減額	533 百万円
・社債の発行	294 百万円
・長期借入金の返済	△1,018 百万円

主要な営業所及び店舗

事業所名	所在地	店舗数
本部	静岡県沼津市	
カルチャー店舗	静岡県沼津市他	24店舗
	神奈川県座間市他	14店舗
	東京都府中市他	3店舗
	愛知県名古屋市他	3店舗
	京都府京都市他	2店舗
	埼玉県狭山市他	2店舗
紳士服店舗	静岡県沼津市他	3店舗
カジュアル店舗	静岡県函南町他	5店舗
レディース店舗	静岡県沼津市他	4店舗
合計		60



株式の状況

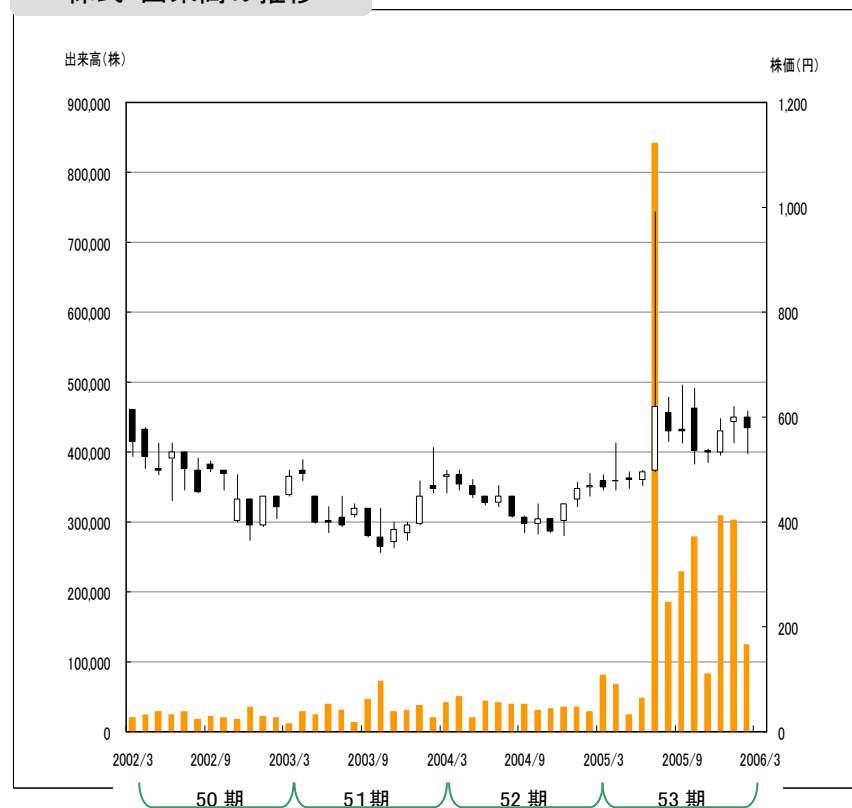
大株主

(2006年2月28日現在)

株主名	議決権数 (議決権比率)
有限会社ゴトーエンタープライズ	3,481,920 (37.8%)
後藤 行宏	1,058,558 (11.4%)
後藤 菊枝	672,832 (7.3%)
有限会社ジーティー企画	520,000 (5.6%)
後藤 全弘	460,150 (4.9%)
ゴトー共栄会	421,700 (4.5%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	231,000 (2.5%)
日本ジャンボ株式会社	188,900 (2.0%)
株式会社静岡銀行	173,000 (1.8%)
株式会社静岡中央銀行	100,000 (1.0%)

■ 会社が発行する株式の総数	24,634,000 株
■ 発行済株式の総数	9,207,753 株
■ 株主数	1,154 名
	(前期末比 604 名増)

株式・出来高の推移



役員

(2006年5月30日現在)

代表取締役社長	後藤 行宏
代表取締役専務	後藤 久徳 (事業本部長)
常務取締役	土橋 文彦 (管理本部長兼総合企画部長)

【執行役員】

市川 文宏	(管理本部 人事部長)
後藤 知弘	(事業本部 ファッション事業部長)
高橋 英明	(事業本部 カルチャー事業部長)
小池 修一	(管理本部 総務部長)
小原 政寛	(管理本部 財務部長)



株式メモ	
事業年度	3月1日～翌年2月末日
基準日	定時株主総会については2月末日 その他の必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
利益配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
中間配当金受領 株主確定日	毎年8月31日
公告掲載新聞名	日本経済新聞
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120 - 232 - 711
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式数	100株

お知らせ

株式に関する諸手続きについて

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求等の株式に関する諸手続きにつきましては、左記の株主名簿管理人あてにご照会ください。

また、配当金につきましては、銀行口座への振込のご指定ができますので、ご希望の方は、左記株主名簿管理人あてに配当金振込指定書をご請求の上、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

なお、住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求につきましては、株主名簿管理人の左記フリーダイヤルにて受け付けております。

株式会社 **ゴト**

〒410-0063 静岡県沼津市緑ヶ丘10番地の1

TEL (055) 923 - 5100

ゴトホームページ <http://www.gms.co.jp/goto/>